

## 令和4年第2回定例会

# 議案審査特別委員会における主な議案質疑

(6月13日、14日、15日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く13名の議員で構成。

### 議案第32号 令和4年度かすみがうら市一般会計補正予算(第3号)

#### 【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億8508万円を追加し、歳出歳入予算の総額をそれぞれ198億8945万9000円とするものです。

#### Q 補正予算1億8508万円の内訳は

A 主な内訳は、向原土地地区画整理事業の損失補償等請求事件にかかる解決金が1億3900万円、複合交流拠点施設等整備に要する経費として計画地内の配水管撤去及び新設に係る補償費が2861万1000円、三ツ石森林公園休憩所整備工事費が1200万円、ウエルネスプラザ駐車場整備に328万9000円、学校栄養指導員雇用のために218万円を計上しております。

#### Q 三ツ石森林公園休憩所整備の内容は

A 自然環境整備交付金(補助率45%)を活用し、三ツ石森林公園内にある東屋やベンチなど、園内の老朽化した設備をリニューアルするものです。



▲三ツ石森林公園(もりの小屋)

#### Q 学校栄養指導員の雇用とは

A 当初、県費による栄養教諭等の栄養指導員4名の配置が予定されておりましたが、実際の配置が3名になったため、不足します1名分を会計年度任用職員として市が雇用するものです。栄養指導員は各中学校に3名配置されておりましたが、小学校で最も人数が多い下稲吉小学校に1名追加で配置し、その他の小学校につきましては兼務という形で対応いたします。

### 議案第34号 複合交流拠点施設整備事業用地の取得について

#### 【議案の概要】

複合交流拠点施設整備事業用地を取得することについて、規定により、議会の議決を求めるものです。

#### Q 今回、取得予定の事業用地には廃棄物が埋設されていたため、1㎡あたり3万5400円の不動産鑑定評価額は変わるのではないかと

A 土壌汚染や地下の埋設物は現状の外観から確認できない場合が多いため、通常は更地として土地の評価を行い、地下に埋設物等があることが分かった場合には、当事者同士の話し合いで解決してもらうというのが前提です。そのため、不動産鑑定評価額は更地の価格となっており、変更はありません。(今回、事業用地内で確認された地下埋設物については、土地の所有者が費用を負担して撤去しております。)

#### Q 不動産鑑定会社はなぜ立会人無しで広大な公共用地のための土地の評価を行ったのか

A 土地鑑定のための現地調査では、土地の境界が曖昧な場合に物件の境界や場所を間違わないように、立会を求めることはありますが、今回評価した土地については、境界がはっきりしていたため立会を求めませんでした。また、土地の用途や面積の大きさを理由に立ち合いを求めることはありません。また、地下埋設物についても当事者同士の話し合いで解決してもらうのが前提ですので、立会を求めてはおりません。

